

## 高等部作業学習の基本的な考え方

### 単元「『〇〇〇フェスタ』を成功させよう」

高等部では作業学習を教育課程の中心に据え一週間のうち3日間(1日は全日)を作業学習にあてている。今年度の生徒数は、1年生〇人、2年生〇人、3年生〇人である。これを生徒の興味・関心・意欲や個々の実態に応じて縦割りのグループに編成している。グループ編成の際は、生徒が多様な経験を積めるよう原則として毎年違う作業班に所属するようにしている。今年度の作業班は手織り班、木工班、窯業班、工芸班、農耕班の五班である。各作業班ともに、生徒一人一人が目標や見通しを持ち「自ら分かり動ける」活動ができるように努めている。

各班が作った製品や生産物は、PTAのバザーの際に一角を借りて販売していたが、生徒主体の活動を求めて、平成16年度から作業学習発表会「〇〇〇フェスタ」を始めた。これは、作業学習の一年間の集大成として各班の製品や生産物を展示・販売する取組で、本年度は〇月〇日に開催する予定である。後期現場実習が終了する11月の第3週から「〇〇〇フェスタ」開催までの期間は、各班ともに年間の作業学習の仕上げとして全力をあげて製作・生産活動に取り組む。

「〇〇〇フェスタ」を運営するのは、各作業班の代表2人からなる実行委員会を中心に生徒が主体となり企画・準備を進める。小・中学部の学習発表会の場を借りてステージでのPR活動を行ったり、地域の店舗や公民館などをお願いしてポスターを貼らせてもらったり、校区にチラシを配布したりするなどの宣伝活動も積極的に行っている。その他の諸々の仕事も、各班が分担し協力して運営にあたる。

#### ○今年度の取り組み

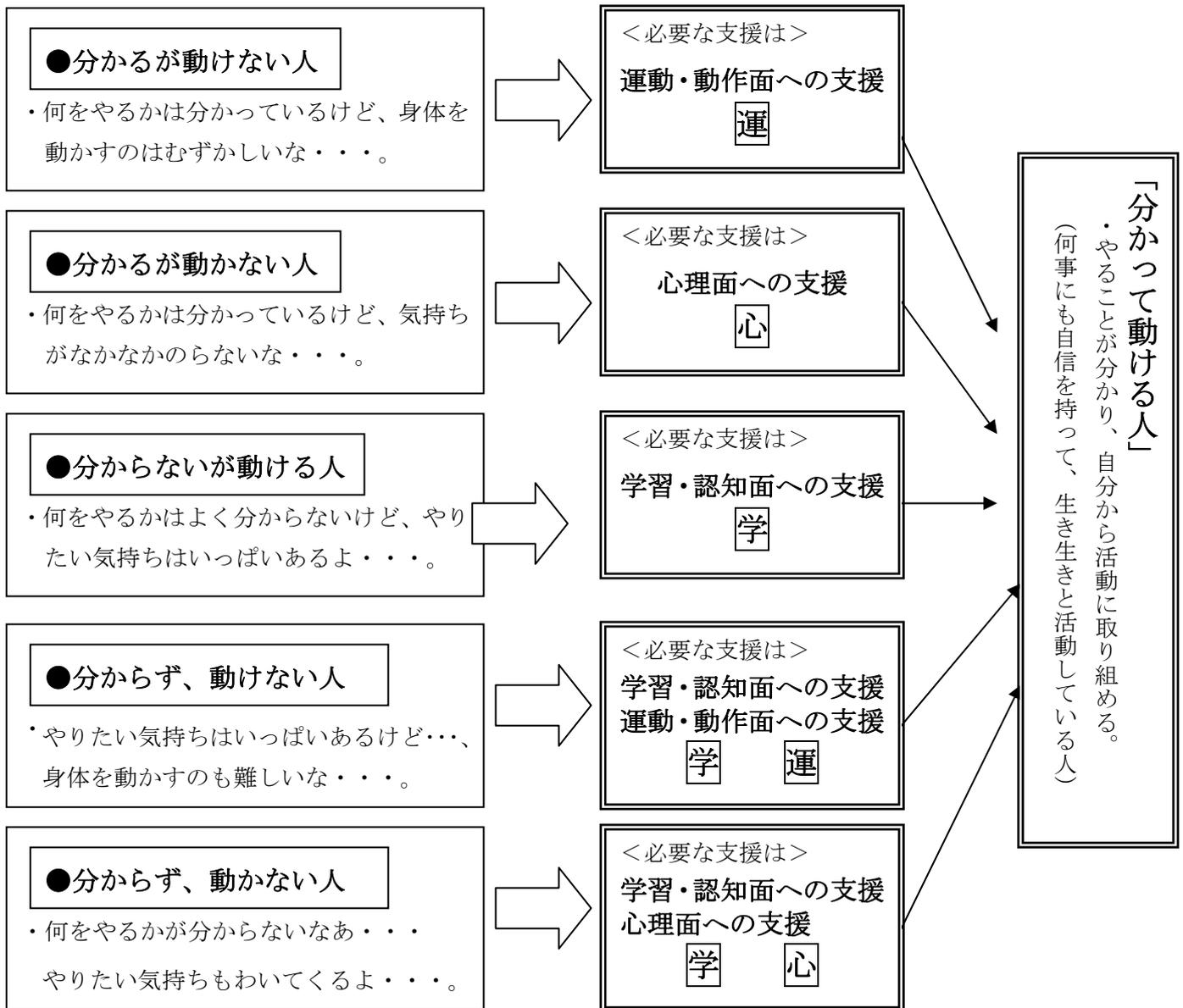
研修テーマ副主題である「子どもが自ら分かり動ける支援の推進」を目指して、各作業班が、さまざまな活動において「自ら分かり動ける」ための多様な支援のあり方を試みる。

一人一人の生徒が、作業班という集団の中で、目標や見通しを持って主体的に活動を行えるよう、単元ごとに個別の指導計画を検討し、一人一人に応じた最適な支援を追求し実践していく。

| 時間              | 作業班  | 場所                      | 授業者 |
|-----------------|------|-------------------------|-----|
| 13:30～<br>14:20 | 工芸班  | 職能訓練室                   |     |
|                 | 窯業班  | 窯業室                     |     |
|                 | 農耕班  | 校内農園<br>雨天時は1-1教室       |     |
|                 | 手織り班 | 作業訓練室<br>2-1教室<br>2-2教室 |     |
|                 | 木工班  | 木工室                     |     |

## 高等部作業学習における「子どもが自ら分かり動ける支援」のあり方

### 1. 「分かって動ける」ようになるための必要な主な支援について



### 2. 具体的な支援の内容について

| <b>運</b> 運動・動作面への支援   | <b>心</b> 心理面への支援   | <b>学</b> 学習・認知面への支援   |
|---|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>道具の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>補助具の使用</li> <li>スイッチ類の利用</li> </ul> </li> <li>場の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>机や椅子の高さ</li> <li>活動スペース</li> <li>移動しやすさ</li> </ul> </li> <li>その他</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>興味・関心のもてる作業内容</li> <li>適切な後続刺激（正の強化） <ul style="list-style-type: none"> <li>賞賛</li> <li>達成感</li> <li>休憩</li> <li>報酬</li> </ul> </li> <li>負担にならない作業量や内容</li> <li>刺激の軽減</li> <li>仲の良い友達とのグルーピング</li> <li>成功体験</li> <li>その他</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>見て分かる明確な説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>写真</li> <li>文字</li> <li>カード</li> <li>絵</li> </ul> </li> <li>理解を助ける声かけ</li> <li>手本や見本</li> <li>工程表や手順書</li> <li>スケジュール</li> <li>道具の工夫</li> <li>道具や人の配置</li> <li>経験の繰り返し</li> <li>その他</li> </ol> |

# 作業学習支援案 工芸班

## 1 単元名「〇〇〇フェスタを成功させよう ～再生和紙工芸品を作って売ろう～」

### 2 単元について

#### ○作業の概要

工芸班で取り組んでいる牛乳パックからの再生和紙づくりは、材料が簡単に手に入り、自分たちが給食で飲んだ牛乳パックを再生するというリサイクルを意識した活動の一端も担っている。再生和紙の製作工程は、牛乳パックのラミネートはがし、ミキサーによるパルプ液作り、紙すき、アイロンがけなどの工程から成り立っている。前期（5月～9月）では、再生和紙作りの製作工程を生徒一人一人が、ひととおり経験した。後期（10月～2月）では、和紙工芸品作り（ねり液作り・パルプ液作り・ランチョンマット作り・壁飾り作り）、小物雑貨作り（カードスタンド作り・小物作り・カレンダー用台紙作り・かご編み・ランプシェード枠作り）の2つに分けられる。「〇〇〇フェスタ」に向けて製品の完成度を高め、付加価値をつけるために和紙工芸品作りや小物雑貨作りを行う。2月に開催する「〇〇〇フェスタ」に向けて、販売の準備や計画にも力を入れていく。

#### ○単元設定の理由

本単元では、和紙工芸品作りや小物雑貨作りなど色々な工程を経験できるので、個に応じた支援の方法を工夫することで、生徒一人一人に担当できる工程を設定することができる。そのことで自分の仕事を理解しやすくし、集中力や持続力を育てることができる。これまでは、再生和紙作りの工程に加えて、ステンシルによる模様をつけて卓上飾りを完成させ、成就感を味わうことができた。さらに「〇〇〇フェスタ」では、たくさんの方々に製品を買っていただくために、生徒一人一人がよりよい製品作りを意識して、仲間と協力して製品を作り上げる喜びを感じさせたい。また自分の作った製品に責任をもつことができるので、本単元は、「子どもが分かり自ら動ける」ために適した題材と考える。

#### ○班の構成

本グループは、1年生〇人、2年生〇人、3年生〇人の計〇〇人で構成され、月曜日と火曜日の午前、木曜日の午前・午後と、週に3日間学習に取り組んでいる。今年度の生徒は、初めて工芸班で活動する生徒ばかりで構成されている。今までの工芸班では、分業して作業をしていたが、今年度は、すべての作業工程をみんなが経験し、製品作りに取り組んでいる。

### 3 単元における目標

- 再生和紙作りの工程を知り、リサイクルへの意識をもつことができる。
- 製品作りの工程を理解し、自信をもって生き生きと作業に取り組むことができる。
- 作業への見通しをもち、時間いっぱい集中して作業に取り組むことができる。

- 自分に任された仕事を，責任をもって主体的に行うことができる。
- 仲間と協力して一つの製品を作り上げる喜びや達成感を味わうことができる。
- 製品の販売を通して自分で作った製品が認められる喜びを味わうことができる。

## 4 単元における「子どもが自ら分かり動ける支援」を実践するための状況作りについて

### (1)「子どもが分かり自ら動ける」活動の進め方

#### ①見通しをもてるように

- ・完成品を展示し，製品作りへのイメージをもたせる。
- ・授業のはじめに本時の流れと作業内容を説明し，作業指示カードを利用し作業工程の分業を行う。
- ・それぞれの製品の作業工程を理解させるために製品作りをひととおり行い，どのような工程かを体験し，見通しをもたせる。

#### ②分かって動けるように

- ・各グループに分かれ，本時の作業内容と目標を確認する。
- ・パネルや工程カードなどの視覚的なものを利用し，適切な助言や支援を行う。
- ・教師が，生徒と一緒に製品作りをすることで手本や見本となり作業工程の理解を深める。

#### ③意欲をもって主体的に動けるように

- ・毎時間，個人目標を設定することで主体的に動けるようにし，「がんばり表」に取り組んだ量を記入することで仕事量を評価し，次時への励みにする。
- ・目標達成をした時や，集中して取り組んでいる姿勢などに対して賞賛の声かけをし，意欲をもたせる。
- ・それぞれの製品作りを繰り返し行うことで作業工程に対する見通しをもたせ，成功体験をたくさん積み重ねることで自信をもたせ，自分で作り上げる達成感を味わわせる。
- ・製品の生産数分かるように表を準備し，確認しながら意欲を高める。
- ・2月に開催する「〇〇〇フェスタ」で，自分たちの作った製品を多くの方々に販売することを目標にして，意欲をもたせる。

#### ④一人一人に，「分かって自ら動ける」作業があるように

- ・個々の生徒の実態や興味・関心に応じて作業内容を準備し，自分の仕事に自信をもって時間いっぱい作業に取り組めるようにする。

### (2)「子どもが分かり自ら動ける」を支える場の設定と道具や補助具の工夫

#### ①分かりやすい場の設定

- ・各自集中して取り組めるよう作業するグループごとに場を設定し，テーブルに作業工程を書いたプレートを置く。
- ・道具や材料の場所を分かりやすく提示し準備や後片付けができやすい環境を設定する。
- ・紙すき工程では，一方方向に作業を進めていくように，道具を配置する。

#### ②一人でも「分かる」「できる」ように道具や補助具を準備

- ・ミキサーに入れる水の量をビニールテープで目印をつけて分かりやすくする。
- ・遠隔操作が可能なラッチアンドタイマーとスイッチを設置する。
- ・見本の製品を展示することで，完成品をイメージしやすくする。

- ・方眼紙を使ってかご編みの見取り図を作成し、その長さや色に合わせて編みやすくする。
- ・製品作りの工程が分かるように製作工程表やポイントカードを準備する。
- ・色パルプ液の量を調節できるよう小さいスプーンを使用する。

## 5 単元計画

| 期 間               | 主 な 活 動  |   |
|-------------------|--|---|
| 11 / 12           | ○作業室の整備 ○○○フェスタに向けての製品紹介                         |   |
| ～15               | *和紙工芸品作り   | *小物雑貨作り   |
| 19～22             | ・ねり液作り・パルプ液作り<br>・ランチョンマット作り・壁飾り作り               | ・カードスタンド作り・小物作り<br>・カレンダー用台紙作り・かご編み                   |
| 26～29             | ・パルプ液作り・カレンダー用紙作り<br>・ランプシェード用紙作り                | ・新聞紙リサイクル粘土作り<br>・フォトスタンド作り・カレンダー印刷                   |
| 12 / 3<br>～6 (本時) | ・カレンダー用紙作り<br>・ねり液作り・パルプ液作り<br>・ランチョンマット作り・壁飾り作り | ・カレンダー印刷・カードスタンド作り<br>・カレンダー用台紙作り・小物作り<br>・ランプシェード枠作り |
| 10～13             | ・ランチョンマット作り<br>・壁飾り作り・カレンダー用紙作り                  | ・カレンダー印刷・小物作り (装飾)<br>・カレンダー用台紙作り                     |
| 17～20             | ・ランプシェード用紙作り<br>・ランチョンマット作り(ラミネート加工)             | ・カレンダー印刷・小物作り (装飾)<br>・ランプシェード作り                      |
| 1 / 8～10          | ・ラミネート加工・壁飾り (装飾)                                | ・カレンダー印刷・カレンダー製品加工                                    |
| 15～17             | ・製品加工・製品の仕分け作業                                   |   |
| 21～24             | ・製品の仕分け作業・ラッピング・掲示物・看板作り                         |   |
| 28～31             | ・ラッピング・掲示物・看板作り・値札貼り                             |   |
| 2 / 4～6           | ・接客・レジ・呼び込みの練習・事前準備                              |   |
| 7                 | 「○○○フェスタ」  |   |

## 6 個別の支援計画

| 名 前  | これまでの様子と本単元の個別目標  | 本時の個別の目標                        | 達成への支援や手立て                               |
|------|---|---------------------------------|--|
| A さん | <p>・ステンシルの工程は、デザインの配置を工夫しながら取り組めた。</p> <p>・気持ちが不安定なときに、作業に影響することがある。</p> <p>●自分で色や配置を工夫しながら意欲的に取り組むことができる。</p> <p>●気持ちのコントロールができるようになる。</p> | <p>●仲間と協力して台紙作りに取り組むことができる。</p> | <p>・リーダーとすることでやる気を起こさせ、気持ちを安定させる。心-5</p> |

|         |  |  |   |
|---------|--|--|---|
| B<br>さん | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業に意欲的に取り組むが、やや雑な面があり、手元を見て丁寧に組み合わせることが課題である。</li> <li>●完成品を参考にして、丁寧に製品を作り上げることができる。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ステンシル加工の工程を理解し、丁寧に組み合わせることができる。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>使う色を限定し、完成品を準備する。学-3</li> </ul>                        |
| C<br>さん | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業の流れや手順は理解しているが、疲れやすく、手が止まることが多い。</li> <li>●自分に任された製品を丁寧に仕上げ、時間いっぱい作業に取り組むことができる。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●パルプ液の量を調節しながら木枠に慎重に流し込むことができる。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>色パルプ液を入れる時、小さいスプーンを使い、適当な量を注げるようにする。学-6</li> </ul>     |
| D<br>さん | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業に対して意欲的に取り組んでいるが、私語をするなど集中力を欠くことがある。</li> <li>●集中して作業に取り組むことができる。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業に集中して、手順や方法を間違えずにランチョンマットを作ることができる。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>間違いやすい手順の所で確認の声かけをする。学-2</li> </ul>                    |
| E<br>さん | <p>※抽出生としているので「7. Eさんの目標と支援の手立て」をご覧ください。</p>   |  |   |
| F<br>さん | <ul style="list-style-type: none"> <li>和紙作りの工程は、ほぼ理解して丁寧に仕上げることができる。</li> <li>●自分が任された製品を見通しをもって丁寧に仕上げることができる。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●粘土作りやステンシルの工程を理解し、自分で準備や後片付けができる。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>作業工程や準備、後片付けの写真を準備する。学-1</li> </ul>                    |
| G<br>さん | <ul style="list-style-type: none"> <li>職能訓練室に行くことを拒むことがあったが、情緒面が安定してきたからは、スムーズに行けるようになっている。</li> <li>●職能訓練室で落ち着いて過ごし、作業に参加することができる。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ラッチアンドタイマーのスイッチを押してミキサーを回し、パルプ液を作ることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ラッチアンドタイマーとスイッチを使用して簡単にミキサーを回せるようにする。運-1</li> </ul>    |
| H<br>さん | <ul style="list-style-type: none"> <li>パルプ液作りの準備を自分のミキサーと並行して他人の分まで準備することができている。</li> <li>●作業手順に従い、丁寧に組み合わせ製品を作り上げることができる。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●慌てず丁寧に道具を扱い、静かに作業に取り組むことができる。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>見本を参考に型枠に好きな色パルプを入れることを確認する。学-3</li> </ul>             |
| I<br>さん | <ul style="list-style-type: none"> <li>一日の目標が決まり、作業の内容や手順を理解すると、意欲をもって取り組もうとするが、仕上がりにやや雑な面がある。</li> <li>●落ち着いて新しい製品作りに取り組む、丁寧に仕上げることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●落ち着いてステンシル工程に取り組むことができる。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>見本を準備してイメージさせる。学-3</li> <li>興味ある絵柄を準備する。学-7</li> </ul> |

|             |   |   |  |
|-------------|---|---|--|
| J<br>さ<br>ん | <ul style="list-style-type: none"> <li>・和紙作りの工程は、ほぼ理解して、意欲的に取り組めるようになった。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい製品作りに見通しをもって取り組み、困ったときに報告することができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●曲線に気をつけながら、ラジオペンチを使ってカードスタンドを作ることができる。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードスタンド作りのポイントカードを見るように声かけする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">学-2</p>           |
| K<br>さ<br>ん | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチとミキサーの仕組みを理解し始めている。</li> <li>・作業に集中できないときがある。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の取り組む活動が分かり、取り組める時間が増える。</li> <li>●スイッチや補助具に自分から手を伸ばして取り組むことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分から手を伸ばしてスイッチを押すことができる。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラッチアンドタイマーとスイッチを使用してミキサーを回せるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">運-1</p>      |
| L<br>さ<br>ん | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンシルの工程は色や配置を自分で工夫し、確実に仕上げることができる。</li> <li>・気持ちの不安定なときに作業に影響することがある。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分で色や配置を工夫しながら意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●台紙作りの工程を理解し、正確に編むことができる。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・方眼見取り図を使って確認する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">学-6</p>                         |
| M<br>さ<br>ん | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業内容に見通しがもてると、落ち着いて取り組むことができる。</li> <li>・作業学習に対して、漠然とした不安感をもつ。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業内容に見通しをもち、落ちついて取り組むことができる。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の目標枚数に合わせて、落ち着いて台紙作りに取り組むことができる。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標枚数を達成したら、休憩をとらせ、作業の追加はしないように気をつける。</li> </ul> <p style="text-align: right;">心-3</p>    |
| N<br>さ<br>ん | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業工程を理解し、積極的に取り組むことができる。</li> <li>・集中力を欠き、手遊びが見られる。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作業をする喜びや達成感を味わうことができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●時間いっぱい集中して見本を見ながらランチョンマットを作ることができる。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな模様を選ばせ、丁寧な作業ができているか見守り、必要に応じて声かけを行う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">学-2</p> |
| O<br>さ<br>ん | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工程はほぼ理解しているが、雑になることがある。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工程に従って作業を進める。</li> <li>●落ち着いて作業に取り組む。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●粘土をうすく伸ばして製品を作ることができる。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適量の材料を準備して、手を添える。</li> </ul> <p style="text-align: right;">学-8</p>                       |
| P<br>さ<br>ん | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工程をほぼ理解し、一人で作業に取り組んでいる。</li> <li>・集中力が低下し、雑になることがある。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●丁寧に作業に取り組み、良い製品を作ることができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小物作りに丁寧に取り組むことができる。</li> <li>●手元をよく見て作業する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手元を見ることや、力を加減することを助言し、丁寧に組み立てるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">学-2</p>    |

## 7 Eさん（抽出生徒）の目標と支援の手立て

### （1）これまでの様子と本単元の個別の目標

#### ○これまでの様子

- ・再生紙による和紙作りの工程は、繰り返して行うことで少しずつ理解して取り組めるようになってきた。
- ・集中した時は、はっきりした声で報告することができるようになってきた。
- ・作業の見通しがもてない時は、同じような質問が多くなり、作業中動きが止まってしまうことがある。

#### ○本単元の個別目標

- ・自分で担当する工芸品作りの工程を理解し、自分の力で行うことができる。
- ・一緒に作業している友達と協力して、時間いっぱい集中して取り組むことができる。

### （2）Eさんを支える状況作り（「自ら分かり動ける」支援のあり方）

#### （主体的に活動するために）

- ・製品の完成品を手本にし、ある一定期間に製品作りを行い、繰り返し行っていくことで、完成までの工程を理解させ見通しをもたせる。
- ・製品作りの際に、注意する部分や間違いやすい部分については、製作工程表またはカードを利用しながら間違いを少なくすることで、成功体験を増やしていく。
- ・授業のはじめに本時の流れと作業内容を確認する。
- ・毎時間個人目標を立てさせ、はじめに確認して最後に反省を行っていくことで、目標を意識させ、主体的に動けるように配慮する。
- ・繰り返して製品を作り上げていく中で、日々技術が向上していることを賞賛しながら、自信を深めさせるとともに自分で作り上げることの喜びを味わわせる。

#### （主体性を支える場の設定や道具や補助具などの工夫）

- ・授業の一連の流れを決めて繰り返して行うことで、授業に対する見通しをもたせ、不安をもたないように配慮する。
- ・繰り返して一連の製品作りを行うことで、注意すべき点や工夫すべき点を自分で考えさせ、より良い製品を作ろうとする意欲をもつようにする。
- ・製品作りに必要な道具（ラジオペンチ）や材料（カラーワイヤー）の場所を固定し、製品作りの授業のはじめには、自分で準備し、終わりには元の場所に片付けるようにする。

## 8 本時の計画

### （1）目標

- ・それぞれの工程に従って、製品を作り上げることができる。
- ・集中して時間いっぱい作業に取り組むことができる。
- ・報告と確認を忘れずに行うことができる。
- ・道具の準備と後片付けが自分でできる。

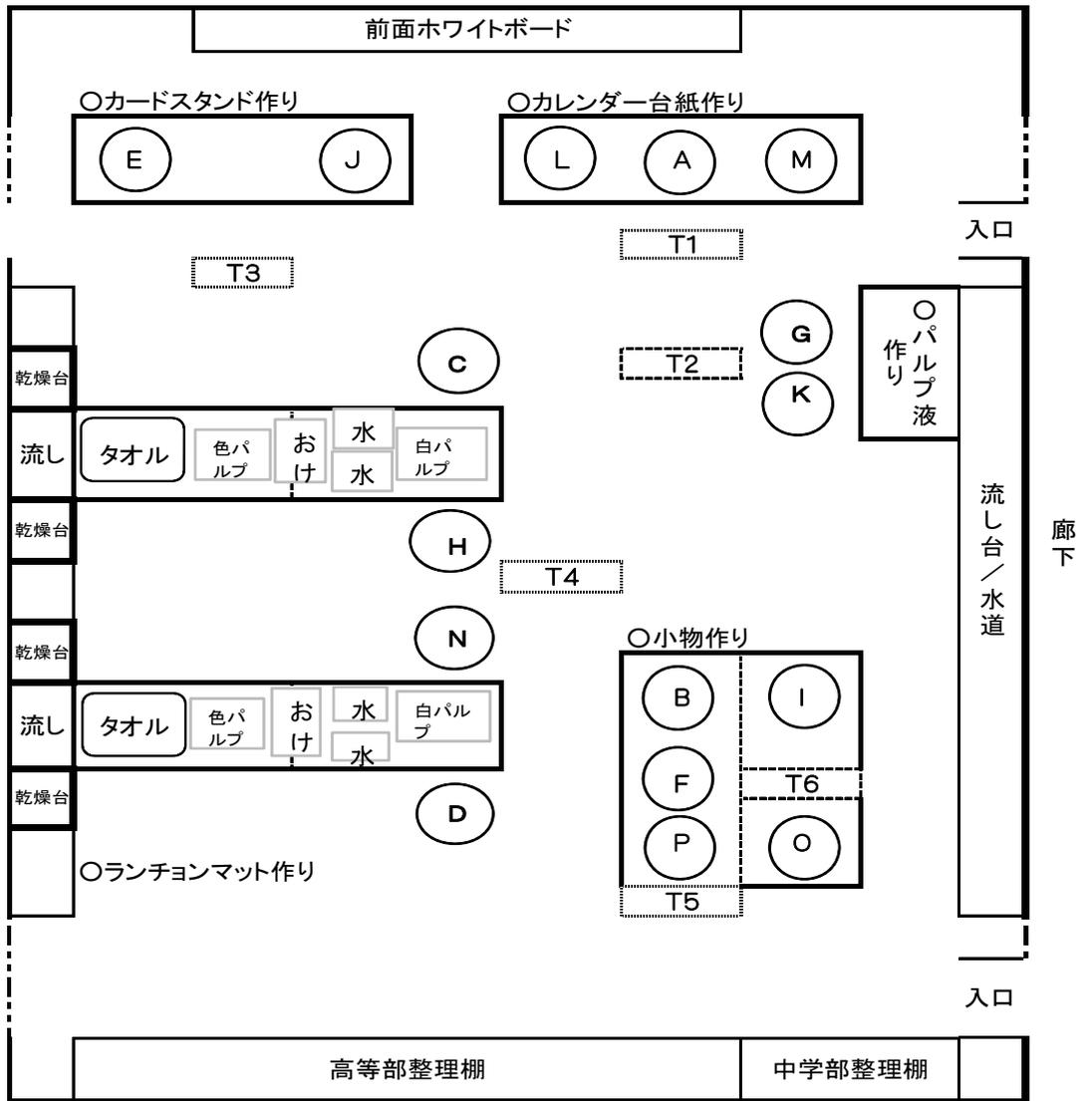
## (2) 展開

| 配時<br>(分) | ○生徒の活動 ■Eさんの目標  | ◆Eさんの支援上の留意点                             | ◇全体の支援上の留意点   |
|-----------|---|--|---|
| 1         | ○はじめのあいさつをする。   |  | ◇日直の生徒は前に出てあいさつをするように促す。  |
| 2         | ○今日の作業内容を聞く。<br>■自分の作業内容をよく聞いて理解することができる。<br>・作業指示カード   | ◆完成品を提示して本人に確認をする。 [学]ー3                 | ◇各グループの作業内容を作業指示カードを使って説明する。 [学]ー1  |
| 5         | ○各グループで、本時のそれぞれの活動や個人目標を確認する。<br>■個人目標を考えて発表することができる。<br>・作業ファイル  | ◆前回の達成状況を説明しながら目標が立てられるように声かけを行う。 [心]ー1  | ◇それぞれの個人に合った目標が立てられるように声かけを行う。 [心]ー1<br>◇各グループの場所を設定し作業しやすい状況を準備する。 [運]ー2   |
| 3         | ○製品作りのための道具・材料の準備をする。<br>■自分で必要な道具の準備ができる。  | ◆道具の準備ができていない場合には、準備する道具の一覧を確認させる。 [学]ー1 | ◇道具の準備ができていない生徒には、準備する道具の一覧を確認させる。 [学]ー1  |
| 2 3       | ○製品作りをする。<br>・「カレンダー用台紙作り」<br>(生徒A・L・M)<br>・完成の見本・方眼紙の見取り図・仮止め用洗濯ばさみ・はさみ・編み込み用のひも・ボンド<br>・「パルプ液作り」(生徒G・K)<br>・ラッチアンドタイマー・遠隔操作のスイッチ・パルプ<br>・色テープ・バケツ・ざる・タオル<br>・「ランチョンマット作り」<br>(生徒C・D・H・N)<br>・完成の見本・紙すきセット<br>・型枠・仕切り糸 |  | ◇カレンダー台紙作りの際には、工作用紙の方眼に合わせてひもを組んでいくことを促す。 [学]ー6<br>◇ラッチアンドタイマーとスイッチを使用してミキサーを回せるようにする。 [運]ー1<br>◇見本を見ながら型枠に好きな色パルプを入れることを確認させる。 [学]ー3・6<br>◇パルプ液をかける際、側で量を調整しながら適宜声かけを行う。 [学]ー2 |

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
|   | <p>・「カードスタンド作り」<br/>(生徒E・J)</p> <p>・完成の見本・ラジオペンチ<br/>・型紙・カラーワイヤー</p> <p>■工程に従って集中して製品を作り上げることができる。</p> <p>■工程ごとに作業の確認を自分から行うことができる。</p> <p>・「小物作り」<br/>(生徒B・F・I・O・P)</p> <p>・完成品の見本・新聞紙リサイクルで作った粘土・小物・絵の具セット・ステンシル</p> | <p>◆カードスタンド作りでは、型紙に合わせることを促していく。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－8</p> <p>◆工程ごとに作業報告や確認ができていない場合には、適宜声かけを行う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－2</p> <p>◆動きが止まっている場合に声かけを行う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－2</p> <p>◆一緒に振り返りながら、目標が達成できたかを報告させ、自信をつけさせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－2</p> <p>◆自分の作った製品を提示させながら発表させるようにする。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－6</p> | <p>◇カードスタンド作りのポイントカードを見ながら形を成形することを確認する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－2</p> <p>◇自分で小物の形を選び、意欲を持たせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－1</p> <p>◇粘土は薄く伸ばしながら貼り付けていくよう適宜声かけをする。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－2</p> <p>◇元の場所に戻すのが困難な場合の生徒に具体的な指示を行う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－2</p> <p>◇本時の作業内容や目標が達成できたかを報告させ、みんなに評価してもらい自信をつけさせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－2</p> <p>◇各グループの製品の生産数をカードに記入したものを確認して、達成感や満足感を味わわせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－2</p> |
| 5 | <p>○使った道具の片づけをする。</p> <p>■自分で使った道具を、きれいにしてから元の場所に戻すことができる。</p>   | <p>◆動きが止まっている場合に声かけを行う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－2</p>  | <p>◇元の場所に戻すのが困難な場合の生徒に具体的な指示を行う。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学</span>－2</p>  |
| 7 | <p>○本時を振り返り、作業ファイルに記入し、それぞれの目標が達成できたか報告しあう。</p> <p>■今日の活動を振り返って発表することができる。</p> <p>・作業ファイル</p>  | <p>◆一緒に振り返りながら、目標が達成できたかを報告させ、自信をつけさせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－2</p>  | <p>◇本時の作業内容や目標が達成できたかを報告させ、みんなに評価してもらい自信をつけさせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－2</p>   |
| 3 | <p>○各グループの代表から今日の作業報告をする。</p> <p>■全体の中で作業報告がしっかりできる。</p>   | <p>◆自分の作った製品を提示させながら発表させるようにする。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－6</p>  | <p>◇各グループの製品の生産数をカードに記入したものを確認して、達成感や満足感を味わわせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心</span>－2</p>   |
| 1 | <p>○次時の作業内容を聞く。</p> <p>○おわりのあいさつをする。</p>   |  |   |

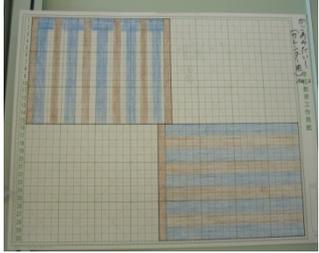
※          内は活動で使用する道具および補助具を表します。

## 9 場の設定と配置



## 10 本単元で使用した補助具や道具の工夫

| 再生和紙の製作工程表  | 製作工程表(各工程)  | 作業指示カード   |
|---|---|---|
|   |   |   |
| <p>○牛乳パックからラミネートはがし、ミキサーがけによるパルプ液作り、紙すき、アイロンがけ、ステンシル加工の一連の工程を掲示して、見通しをもって取り組みやすくする。</p> | <p>○グループごとに分かれて作業する際に、各工程の詳しい製作工程を掲示することで、見通しをもって取り組みやすくする。</p> | <p>○作業開始前に、自分がその日に行う作業を言葉だけでなく、写真カードを使うことにより、見通しと意欲をもって取り組みやすくする。</p> |

| 完成品の提示  | 作業ファイル  | 製品の生産数の表  |
|---|---|---|
|    |   |    |
| <p>○製作する和紙工芸品や小物雑貨などを展示，提示することで生徒に作る際に完成した製品をイメージしやすいようにする。</p>                     | <p>○生徒自ら作業量や作業態度を評価できるように，A4版ファイルに記録している。また次回の目標の確認にも利用している。</p>                    | <p>○作った製品の数を表にして，掲示や提示をすることで，一人一人に目標をもたせたり，意欲を高めたりする。</p>                             |
| <p>ラッチアンドタイマーと遠隔操作のスイッチ</p>   | <p>パルプ液を上から注ぐ方法</p>   | <p>スポンジ</p>   |
|   |  |   |
| <p>○ミキサーのスイッチ操作が困難な生徒用の補助具。スイッチをタッチするとミキサーが自動で操作され，30秒たつと自動的に止まるようにセット。</p>         | <p>○これまで枠の中にパルプをすいていたのを，網の上からパルプ液をかけていくことで，誰もが和紙作りの工程に参加できる。</p>                    | <p>○スポンジで水を吸収し乾きやすくする。</p>  |
| <p>デザイン紙すき用の型枠</p>  | <p>小さいスプーン</p>  | <p>方眼紙見取り図</p>  |
|  |  |  |
| <p>○自分で好きな形の枠の中に，色パルプ液を注ぐことができる。</p>  | <p>○色パルプ液で水玉模様を作る時に，まず左のスプーンにパルプ液を入れ，右の小さなスプーンですくって入れると水玉模様が描きやすくなる。</p>            | <p>○かご編み用のひもを，この型紙の方眼模様に合わせて置くことで，手順が分かりやすくなり，上下の間違いも少なくなる。</p>                       |